

## 植生管理・ナラ枯れ対策

- 樹木の繁茂によって、橋から水面が見えない。剪定を行い、水面や橋の近くにある分水口が見えるようにしてほしい。また、柵内で高く伸びたササが視界を遮り、対岸や他の植物が見えないので、刈ってほしい。
- 法面の崩落を防いでいた樹木を伐採したために、地面が緩み、崩落を招いているのではないのか。
- 自然環境を守るためにも植生管理が必要であることが、市民に伝わっていないのではないのか。
- ナラ枯れの被害木に巻いたビニールシートを外し、薬剤塗布に切り替えるとのことだが、いずれの方法も対策を講じた幹付近では、被害木の呼吸を妨げてしまう。このデメリットを踏まえた上で、どちらの方法が良いのかを教えてください。

## 法面保護工事・関連作業

- 法面保護工事を実施する前の詳細設計を行うとのことだが、対象となる法面の状況や背景を教えてください。
- 法面保護工事の実施に当たり、採用する工法を選ぶ基準はあるのか。

## その他

- 今後、水道局では玉川上水中流部をどのように管理していくのか、将来像を知りたい。
- 史実を後世に残すため、玉川上水と分水について、都及び市は子どもたちへの啓発に努めてほしい。